

201504014A

厚生労働科学研究費補助金

厚生労働科学特別研究事業

医療行為にかかわる分類の国際比較に関する研究

平成 27 年度

総括研究報告書

研究代表者 大井 利夫

平成 28 (2016) 年 3 月

目 次

I. 総括研究報告

- 「医療行為にかかわる分類の国際比較に関する研究」…………… 1
大井利夫
(別表 A) 医療行為分類対比表
(別表 B) ICHI と外保連手術コード体系の比較
(別表 C) ICHI Target と外保連手術試案コード
(別表 D) ICHI、K コード、外保連手術試案コード
(別表 E) An introduction to the classifications of surgical and
procedural intervention in Japan and a result of comparison
between ICHI and Japanese classification

II. 分担研究報告 (研究者五十音順)

1. 「医療行為にかかわる分類の国際比較に関する研究」……………61
阿南 誠
2. 「医療行為にかかわる分類の国際比較に関する研究」……………62
荒井康夫
3. 「医療行為にかかわる分類の国際比較に関する研究」……………64
大塚秋二郎
4. 「医療行為にかかわる分類の国際比較に関する研究」……………65
鎌倉由香
5. 「医療行為にかかわる分類の国際比較に関する研究」……………67
川合省三
6. 「医療行為にかかわる分類の国際比較に関する研究」……………68
川瀬弘一
7. 「医療行為にかかわる分類の国際比較に関する研究」……………71
末永裕之
8. 「医療行為にかかわる分類の国際比較に関する研究」……………72
高橋長裕
9. 「医療行為にかかわる分類の国際比較に関する研究」……………74
波多野賢二

III. 研究成果の刊行に関する一覧表……………77

IV. 研究成果の刊行物・別刷……………77

I 総括研究報告

平成 27 年度厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）

総括研究報告書

「医療行為にかかわる分類の国際比較に関する研究」（1 年目の 1 年計画）

研究代表者 大井 利夫（一般社団法人日本病院会顧問）

【研究要旨】

日本においては、これまで医療行為に関する分類としては、診療報酬制度において用いられている K コード（手術）・J コード（処置）などがあり、目的により使用する分類が異なる状況となっている。さらに、各医療機関においては、米国で作成・利用されてきた ICD-9-CM（International Classification of Diseases 9th Revision Clinical Modification）を統計分析等に任意に使用してきた。また、外科系諸学会の協力のもと運用されている専門医制度と連携したデータベース事業「National Clinical Database（NCD）」等で用いられている外保連（外科系学会社会保険委員会連合）試案コード（手術・処置・生体検査・麻酔の全術式）が検討されている。一方、世界保健機関（WHO）は、WHO 国際統計分類（WHO-FIC）において「国際疾病分類（ICD）」と「国際生活機能分類（ICF）」のほか、「医療行為の分類（International Classification of Health Interventions, ICHI）」の完成に向け、開発を進めており、ICHI においてはその草案である $\alpha 2$ 版と米国医師会（AMA）が保有する医療通用手技用語集（Current Procedural Terminology, CPT）を統合する形で協議が進められていた。また、現在、WHO で開発が進められている ICD-11 では、単に病名のみ分類ではなく、治療法、身体部位、重症度といった複数の要素を組み合わせることで疾病を表すことが目指されており、治療法の分類として ICHI が使用されることが想定されている。ICD-11 については、WHO が公表している予定では、2016 年 5 月の世界保健総会で ICD-11 の情報を報告し、2018 年 5 月の世界保健総会で採択するとのことであり、2016 年度中には概要が固まる可能性が高く、今年度中に ICHI 開発のための情報収集と日本からの意見を集約するための環境整備を行うことが喫緊の課題と考えられる。

今回、これらの経緯を踏まえ、ICHI 等の開発状況の情報収集を参考に、既存の分類の比較検証を行い、わが国に適した医療行為に関わる分類の体制作りを思索した。

研究分担者（50 音順）

阿南 誠 独立行政法人国立病院機構九州医療センター医療情報管理センター実務統括管理者
荒井 康夫 学校法人北里研究所北里大学病院医療支援部診療情報管理室課長
大塚秋二郎 宇都宮リハビリテーション病院院長
鎌倉 由香 昭和大学病院診療録管理室主任
川合 省三 社会医療法人さくら会さくら会病院副院長

川瀬 弘一 聖マリアンナ医科大学病院教授
末永 裕之 一般社団法人日本病院会副会長
高橋 長裕 公益財団法人ちば県民保健予防財団総合健診センター顧問
波多野賢二 国立精神・神経医療研究センター情報管理・解析部データマネジメント室室長

A. 研究目的

医療行為にかかわる分類の国際比較を行い、結果を検証する目的は、現状、国際標準的な医療行為分類が定められておらず、数種類の分類を世界各国で使用している状況を把握することにより、世界保健機関（WHO）において作成が進められている国際医療行為分類（International Classification of Health Interventions, ICHI）の開発状況の情報収集を行い、さらに数ある既存の分類と ICHI との比較検証、ICH I 開発の貢献のための体制作りを行い、ICH I 開発に対する今後のわが国の対処方針の検討材料を提供することにより、このことは世界的な医療行為統計の質の向上の観点からも極めて重要である。

また今回、主な医療行為症例を選択し、その同一症例に対して各分類を用い、手術等について、医学的知見及びコーディングの専門知識に基づき、1対1、1対複数のコード対応表（ブリッジ・コーディング）を作成し、体系的に整理することを目指した。

B. 研究方法

B-1. 資料の種類

現存する医療行為分類の中から主要な分類を比較検証するため、① ICHI、② 米国医師会（AMA）が保有する医療通用手技用語集（Current Procedural Terminology, CPT）、③ 米国で作成・利用されてきた ICD-9-CM（International Classification of Diseases 9th Revision Clinical Modification）、④ わが国の診療報酬制度において用いられている Kコード（手術）・Jコード（処置）、⑤ 日本の外科系諸学会の協力のもと運用されている専門医制度と連携したデータベース事業「National Clinical Database（NCD）」等で検討されている外保連（外科系学会社会保険委員会連合）試案コード（手術・処置・生体検査・麻酔の全術式）の5つの分類を研究対象とすることとし、それぞれの分類の公表されているコ

ードブック及びデータファイルを収集した。

B-2. 資料の解説

① ICHI は、WHO により提唱され開発途中の医療行為の分類体系である。臨床医学全般、医学研究、公衆衛生的調査・介入など広範な分野での多様な使用を目標としており、多種目的での一貫性・相互運用性を持ち、多言語により国際的使用、電子的運用が計画されている。現状のシステム（ α 2-2015 版）では7桁アルファベット（3桁：対象+2桁：行為+2桁：方法）によるコーディングである。広範な分野にわたる介入全体についての分類であるので、項目数も多数になるが、現状では他の分類に比べて実地臨床で行われる医療行為についての項目が必ずしも十分ではない。その構造は組織的に構築された体系であり、必要に応じた拡充が可能である点から、国際間の使用に加えて国内での応用に十分耐える可能性を持っていると考えられる。もっとも、医療状況・標準は各国間で大きく異なる為、必要とされる分類の粒度は国によって異なることにより、状況に応じたモディフィケーションなどの方法が考えられる。

② CPT は、米国医師会により開発され、米国内の診療報酬請求に使用されるのみならず、医療業界内の共通ツールとして広く使用されている。5桁の数字コードで構成されており、多種の手技をカバーするために極めて多数の項目がある。各器官別に数字がふられているが、膨大なコード表によらなくては各コードの意味を理解するのは困難である。

③ ICD-9-CM は、WHO により採択された ICD-9 を基に、米国内での医療行為の分類、統計目的で開発され、その他の国でも一部使用されている。1979年からの米国における疾病分類等に使用されていたが、2015年10月1日をもって ICD-10-CM へ公式に変更された。基本構造は4桁数字によるコーディングである。時代的背景を反映し、日常施行される医療行

為を十分にカバーできていない面がみられる。

- ④J・Kコード：日本の診療報酬点数表の医療行為のうち、手術・処置のためのコードである。DPCコードの構成要素としても使用されている。診療報酬請求に使用する為の需要に応じて追加・拡充されてきているが、同類の手術でもその詳細により個別のコードを付与することが必要である点から、一部の術式が十分にカバーできないことがある一方、領域によって分類の粒度が大きく異なる。基本構造はKないしJに続く3桁数字によるコード、これに続き各2桁までの枝番及び項番が付く。
- ⑤外保連試案コードは、日本国内の外科系学会の協働により開発された分類体系であり、基本的に診療報酬請求を目的としている。技術度、必要スタッフ数、所要時間、使用材料を実態調査に基づいて記載し、医療行為の総費用を算出しているのが大きな特長である。既存のKコードにはすべて対応している。基幹コード7桁で構成されており、その構造はICHIと類似しているが、保険請求のためには単一の手術名が必要である点から、同類の術式でもその範囲、同時に行う処置により複数のコードが必要となり、実際の使用にあたっては多数の項目が必要になってくることが予想される。

B-3. 具体的研究手技

選択した5つの医療行為にかかわる分類を対象に、基本理念、開発経由、基本構造、項目数、領域別項目数について調査し、比較表を作成した。(表1)

また、ICHI、Kコード、外保連手術試案コードの相違点も纏めた。(表2、表3、別表B、別表C、別表D)

さらに、具体的医療行為に対して5つの分類を用いたコード付けを行い、その対比表を作成した。選択した医療行為は、一般社団法人日本病院会・診療情報管理士通信教育の教材(「診療

情報管理IV」専門・分類法編)に掲載されているICD-9-CMに関する例題(表4)から30行為を選択した。選択理由は、本教材がICD-10の全章に対して各問題を設定しており、結果、特定の症例に偏らない医療行為を選択できることからこの方法を採用した。作成するうえでレセプト電算コードも参考として利用した。(別表A)

B-4. 結果の精度に影響する要因の分析(考察)

各種医療分類の精度に関する要因として、以下の項目が考えられる。

(1) 分類の目的

各分類体系が作成された目的、すなわち医療行為の実施状況などの統計、比較などを基本的な目的とするもの、及び各医療行為に対する診療報酬体系を規定する目的とするものかにより、当然以下の「対象」「項目数」などが異なると考えられる。多目的に普遍的に使用可能な分類が理想であると言えるが、各分類の精度は、各々の本来の目的に即した部分ではより精緻となり、そうでない部分で劣ると考えられる。

(2) 分類の対象

医療行為をいわゆる臨床医学の実践である診療と規定するか、その他社会医学的見地から、公衆衛生分野の調査・介入にまで広げるかにより、分類の対象は大きく異なる。後者のより広い分類によると、臨床診療分野での介入に関する分類は大雑把にならざるを得ない傾向があり、前述の診療報酬の為の使用に際しては不十分である場合もある。

(3) 分類項目数

分類項目数に関しても、分類の目的に応じて、必要な項目数が規定される。即ち特定の医療行為の実施状況の国際間の比較などの目的には、過大な項目数は不必要であるのみならず、統計処理に問題を来す場合が考えられるが、診療報酬の目的で使用される場合には、各処置・治療の内容によって細分類が必要とされる。

(4) 必要に応じた分類拡張の可能性

上記の要因を考慮した場合、ある程度大雑把

な分類を基本とし、その使用目的に応じて必要な項目を追加、拡張する可能性を配備した体系となっていることが理想であると考えられる。

B-5. 点検

今回対象とした5つの分類は、その基本的な目的が異なっているため、当然その対象となる医療行為の範囲、及びどこまで細かく分類するかといった面で大きな差異がある。この点から、これらを一面的に比較することは困難であるが、前述の「多目的・普遍的」な使用を前提として、各分類の特色、長所・短所を明らかにするという観点からの比較・検討を行った。研究分担者である医師、診療情報管理士が各々の見地から、各分類体系の概要の比較、及び特定の医療行為について各分類によるコーディングを行い、この過程において抽出された問題点などについて考察した。

C. 研究結果

(1) 各コードの比較表 (表 1)

各コードについて、基本構造を比較した場合、ICHIは7桁アルファベット(最初の3アルファベット:行為の対象、中間の2アルファベット:行為の種類、最後の2アルファベット:行為の方法)、CPTは5桁数字、ICD-9-CMは4桁数字(最初の2桁は「臓器系ないし処置の大分類」、3桁目は「術式」、4桁目は「詳細」)、J・KコードはKないしJに続く3桁数字(これに続き各2桁までの枝番及び項番)、外保連手術試案コードは7桁(アルファベット

と数字、最初の3桁は「操作対象部位」、次の2桁は「基本操作」、次の1桁は「手術部位へのアプローチ法」、次の1桁は「アプローチ補助器械」)であった。

項目数について、ICHIは約5,300項目(セクション1(各器官・機能への介入)は3,838項目、セクション2(行動・動作への介入)は849項目、セクション3(環境・保健への介入)は598項目)、CPTは約8,000項目(細分項目を含めた総数26,700項目)、ICD-9-CMは約3,600項目、J・Kコードは約2,300項目、外保連手術試案コードは2,003項目を数えた。各コードが分類されている領域数については、ICHIはセクション1において、神経系、血液系など計12領域、CPTは評価・管理、麻酔、外科など6つの分類があり、さらに外科において筋骨格系、呼吸器系など計12領域、ICD-9-CMは神経系、内分泌系など計17領域、J・Kコードは神経系・内分泌系など計16領域、外保連手術試案コードは、皮膚、四肢など計24領域であり、同カテゴリーにおけるコード数では、多数からCPT、ICHI、ICD-9-CM、J・Kコード、外保連手術試案コードの順であった。

そのうち、循環器系ではICHIが370項目、CPTが2,497項目、ICD-9-CMが263項目、J・Kコードが169項目、外保連手術試案コード(心・大血管・末梢血管)が201項目、筋骨格系(整形外科)ではICHIが487項目、CPTが5,987項目、ICD-9-CMが644項目、J・Kコードが309項目、外保連手術試案コード(骨・関節・靭帯・筋・腱、四肢、椎体・骨盤)が596項目であった。

医療行為に関する分類 (表 1)

| | ICHI(International Classification of Health Interventions) | CPT(Current Procedural Terminology) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|---|-----------|--------|-----------|--------|----------|----------|----------|-----------|------------|-----------|----------|---|------------|-----------|-------------|---------|-------------|-------------|------------|-----------|-----------|------------|-------------|---------|--------------|----------|-----------|-----------|------------|----------|
| 基本理念 | <p>WHO(世界保健機構)により提唱され開発途中の分類体系 完成時の著作権：WHO</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多目的・総合的分類体系；プライマリケア、臨床医学全般、医学的研究、公衆衛生、等の多様な使用に、一貫性・相互運用性をもつ。 ● 多言語により国際的に使用され、科学的相互比較性、伝達性をもつ。 ● 電子的記録に対応 | <p>AMA (米国医師会) により開発され、米国内で診療報酬請求その他で使用されている分類体系 著作権：AMA</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内科的・外科的医療行為 (診断・治療全般) を記載する標準的・画一的用語の集大成 ● 医療従事者、診療情報管理者、医療事務従事者等、医療関係者間の共通ツール ● 医療行為・処置に関する支払い側への診療報酬請求に使用される。 ● 医療業界内での信頼できるコミュニケーションツールとして重要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開発経由 | <p>1971~1978 WHO により ICPM(International Classification of Procedures in Medicine)が試作・提唱されたが、実用性に欠ける等の理由で 1989 年にプロジェクトは中止された。 以後、WHO-FIC FDC を中心に開発が進められ、現在の時点では ICHIα2-2015 版が公開されている。 基本的に ICD9-CM、および ACHI(オーストラリア医療行為分類)が基礎となっている。</p> | <p>1966 年に初版が AMA により開発された (当初は 4 桁コードによる分類)。 1977 年、5 桁コードによる分類に移行。 1983 年 メディケア・メディケイド医療サービスシステムに適用 3 カ月に一度の運営委員会で継続的に見直し・修正が検討されており、毎年更新されている。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基本構造 | <p>7 桁アルファベットによるコーディング 最初の 3 アルファベット：行為の対象 中間の 2 アルファベット：行為の種類 最後の 2 アルファベット：行為の方法</p> | <p>カテゴリー I, II, III に分かれ、I が医療行為分類。 II は医療評価のための分類、III は新規医療行為 カテゴリー I：5 桁数字によるコーディング 医療者記載用 8 桁数字の ID により細分</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目数 | <p>約 5300 セクション 1 (各器官・機能への介入)：3838 セクション 2 (行動・動作への介入)：849 セクション 3 (環境・保健への介入)：598</p> | <p>約 8000 細分項目を含めた総数 約 26,700</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 領域別項目数 | <p>セクション 1</p> <table border="0"> <tr> <td>神経系： 356</td> <td>呼吸器系： 264</td> </tr> <tr> <td>眼： 188</td> <td>消化器系： 660</td> </tr> <tr> <td>耳： 100</td> <td>表皮系： 177</td> </tr> <tr> <td>血液系： 145</td> <td>筋骨格： 487</td> </tr> <tr> <td>内分泌系： 102</td> <td>泌尿生殖器： 606</td> </tr> <tr> <td>循環器系： 370</td> <td>その他： 383</td> </tr> </table> | 神経系： 356 | 呼吸器系： 264 | 眼： 188 | 消化器系： 660 | 耳： 100 | 表皮系： 177 | 血液系： 145 | 筋骨格： 487 | 内分泌系： 102 | 泌尿生殖器： 606 | 循環器系： 370 | その他： 383 | <p>カテゴリー I</p> <table border="0"> <tr> <td>評価・管理： 347</td> <td>一般： 3,004</td> <td>消化器系： 1,818</td> </tr> <tr> <td>麻酔： 592</td> <td>筋骨格系： 5,987</td> <td>泌尿器系： 1,041</td> </tr> <tr> <td>外科： 19,532</td> <td>呼吸器系： 588</td> <td>男性器系： 459</td> </tr> <tr> <td>放射線： 1,858</td> <td>循環器系： 2,497</td> <td>生殖器系： 5</td> </tr> <tr> <td>病理・検査： 3,102</td> <td>血液系： 115</td> <td>女性器系： 586</td> </tr> <tr> <td>内科： 1,330</td> <td>縦隔・横隔膜： 24</td> <td>産科処置： 82</td> </tr> </table> | 評価・管理： 347 | 一般： 3,004 | 消化器系： 1,818 | 麻酔： 592 | 筋骨格系： 5,987 | 泌尿器系： 1,041 | 外科： 19,532 | 呼吸器系： 588 | 男性器系： 459 | 放射線： 1,858 | 循環器系： 2,497 | 生殖器系： 5 | 病理・検査： 3,102 | 血液系： 115 | 女性器系： 586 | 内科： 1,330 | 縦隔・横隔膜： 24 | 産科処置： 82 |
| 神経系： 356 | 呼吸器系： 264 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 眼： 188 | 消化器系： 660 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 耳： 100 | 表皮系： 177 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 血液系： 145 | 筋骨格： 487 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内分泌系： 102 | 泌尿生殖器： 606 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 循環器系： 370 | その他： 383 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価・管理： 347 | 一般： 3,004 | 消化器系： 1,818 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 麻酔： 592 | 筋骨格系： 5,987 | 泌尿器系： 1,041 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外科： 19,532 | 呼吸器系： 588 | 男性器系： 459 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放射線： 1,858 | 循環器系： 2,497 | 生殖器系： 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 病理・検査： 3,102 | 血液系： 115 | 女性器系： 586 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内科： 1,330 | 縦隔・横隔膜： 24 | 産科処置： 82 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

医療行為に関する分類 (表 1-2)

| | ICD-9-CM (ICD 9 th revision, Clinical Modification) | J・Kコード | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--|---|------------|------------|---------|----------|--|---------|---------|--|-------|----------|--|------|----------|--|---------|---------|--|---------|----------|--|----------|---------|--|--|--------|----------|---------|--------|-------|---------|------|---------|---------|---------|----------|----------|----------|---------|------------|-----------|
| 基本理念 | <p>1975年WHO(世界保健機構)により採択されたICD-9を基に、米国内の医療における、診断・医療行為の分類・統計目的で開発された分類体系</p> <p>管轄：米国保健統計局、メディケア・メディケイドサービスセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第1巻：疾病分類表多 ● 第2巻：索引表 ● 第3巻：外科的・診断的・治療行為分類表 | <p>診療報酬点数表の診療行為のうち、手術・処置の領域にふられたコード。</p> <p>国内での保険診療に関する診療報酬請求に使用される。</p> <p>Jコード：処置の為のコード Kコード：手術の為のコード</p> <p>DPCコードの構成要因としても使用されている。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開発経由 | <p>1979からの米国における疾病統計等に使用。</p> <p>2015年10月1日をもってICD-10-CMへ公式に変更された。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基本構造 | <p>4桁数字によるコーディング</p> <p>最初の2桁00. - 99. 臓器系ないし処置の大分類</p> <p>3桁目：術式</p> <p>4桁目：詳細</p> | <p>KないしJに続く3桁数字によるコード(区分番号)</p> <p>これに続き各2桁までの枝番および項番</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目数 | 約3600 | 約2300 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 領域別項目数 | <table> <tr> <td>処置・手技：14</td> <td>血液・リンパ系：51</td> <td>診断及び治療：796</td> </tr> <tr> <td>神経系：139</td> <td>消化器系：436</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内分泌系：68</td> <td>尿路系：156</td> <td></td> </tr> <tr> <td>眼：283</td> <td>男性器系：105</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耳：59</td> <td>女性器系：179</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鼻・口：120</td> <td>産科処置：64</td> <td></td> </tr> <tr> <td>呼吸器系：66</td> <td>筋骨格系：644</td> <td></td> </tr> <tr> <td>循環器系：263</td> <td>表皮組織：94</td> <td></td> </tr> </table> | 処置・手技：14 | 血液・リンパ系：51 | 診断及び治療：796 | 神経系：139 | 消化器系：436 | | 内分泌系：68 | 尿路系：156 | | 眼：283 | 男性器系：105 | | 耳：59 | 女性器系：179 | | 鼻・口：120 | 産科処置：64 | | 呼吸器系：66 | 筋骨格系：644 | | 循環器系：263 | 表皮組織：94 | | <table> <tr> <td>神経系：90</td> <td>消化器系：275</td> </tr> <tr> <td>内分泌系：12</td> <td>尿路系：92</td> </tr> <tr> <td>眼：119</td> <td>男性器系：41</td> </tr> <tr> <td>耳：52</td> <td>女性器系：94</td> </tr> <tr> <td>鼻・口：140</td> <td>産科処置：25</td> </tr> <tr> <td>呼吸器系：121</td> <td>筋骨格系：309</td> </tr> <tr> <td>循環器系：169</td> <td>表皮組織：50</td> </tr> <tr> <td>血液・リンパ系：51</td> <td>診断及び治療：24</td> </tr> </table> | 神経系：90 | 消化器系：275 | 内分泌系：12 | 尿路系：92 | 眼：119 | 男性器系：41 | 耳：52 | 女性器系：94 | 鼻・口：140 | 産科処置：25 | 呼吸器系：121 | 筋骨格系：309 | 循環器系：169 | 表皮組織：50 | 血液・リンパ系：51 | 診断及び治療：24 |
| 処置・手技：14 | 血液・リンパ系：51 | 診断及び治療：796 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 神経系：139 | 消化器系：436 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内分泌系：68 | 尿路系：156 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 眼：283 | 男性器系：105 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 耳：59 | 女性器系：179 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鼻・口：120 | 産科処置：64 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 呼吸器系：66 | 筋骨格系：644 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 循環器系：263 | 表皮組織：94 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 神経系：90 | 消化器系：275 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内分泌系：12 | 尿路系：92 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 眼：119 | 男性器系：41 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 耳：52 | 女性器系：94 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鼻・口：140 | 産科処置：25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 呼吸器系：121 | 筋骨格系：309 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 循環器系：169 | 表皮組織：50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 血液・リンパ系：51 | 診断及び治療：24 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

医療行為に関する分類（表 1-3）

| 外保連手術試案コード | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|--|--------|--------|------------------|-----------|--------|--------------|-----------|---------|--------|----------------|-------|--------------------|-------|---------|--------------|---------|-----------------|------------|-------------|-----------|-----------------|---------|----------|--------|
| 基本理念 | 外保連（外科系学会社会保険委員会連合）は、外科系診療における診療報酬はどのようにあるべきかを検討することを目的として設立、現在 99 学会が加盟している。手術・処置・生体検査・麻酔の試案が作成され、「技術度」「必要スタッフ数」「所要時間」「使用材料」を実態調査に基づいて記載し、医療行為の「総費用」を算出している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開発経由 | 1982 年に手術試案の初版が完成、以後、定期的に改訂されている。2015 年 12 月に外保連試案 2016 が発刊、この中に手術試案第 8.3 版が掲載されている。2012 年発刊の第 8 版から全術式のコーディングが付記され、基幹コード 7 桁（STEM7）が掲載されている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基本構造 | 7 桁コーディング 最初の 3 桁：操作対象部位 次の 2 桁：基本操作 次の 1 桁：手術部位へのアプローチ法 次の 1 桁：アプローチ補助器械 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目数 | 2,003 件 外保連手術試案第 8.3 版に掲載されている術式は 3,386 件であるが、1 つの外保連手術コードに対応する術式は複数あるため、手術試案コード数は 2,003 件である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 領域別項目数 | <table border="0"> <tbody> <tr> <td>皮膚： 40</td> <td>乳房： 14</td> </tr> <tr> <td>骨・関節・靭帯・筋・腱： 457</td> <td>消化管系： 177</td> </tr> <tr> <td>四肢： 66</td> <td>肝・胆・膵・脾： 113</td> </tr> <tr> <td>椎体・骨盤： 73</td> <td>門脈系： 13</td> </tr> <tr> <td>頭部： 97</td> <td>腹壁・腹腔・後腹膜腔： 41</td> </tr> <tr> <td>眼： 84</td> <td>副腎・腎・尿管・膀胱・尿道： 103</td> </tr> <tr> <td>耳： 44</td> <td>前立腺： 13</td> </tr> <tr> <td>鼻・口・顎・頬： 183</td> <td>外性器： 61</td> </tr> <tr> <td>頸部・甲状腺・副甲状腺： 16</td> <td>子宮・付属器： 53</td> </tr> <tr> <td>脊髄・末梢神経： 34</td> <td>産科・胎児： 15</td> </tr> <tr> <td>心・大血管・末梢血管： 201</td> <td>リンパ： 22</td> </tr> <tr> <td>呼吸器系： 80</td> <td>骨髄・他 3</td> </tr> </tbody> </table> | 皮膚： 40 | 乳房： 14 | 骨・関節・靭帯・筋・腱： 457 | 消化管系： 177 | 四肢： 66 | 肝・胆・膵・脾： 113 | 椎体・骨盤： 73 | 門脈系： 13 | 頭部： 97 | 腹壁・腹腔・後腹膜腔： 41 | 眼： 84 | 副腎・腎・尿管・膀胱・尿道： 103 | 耳： 44 | 前立腺： 13 | 鼻・口・顎・頬： 183 | 外性器： 61 | 頸部・甲状腺・副甲状腺： 16 | 子宮・付属器： 53 | 脊髄・末梢神経： 34 | 産科・胎児： 15 | 心・大血管・末梢血管： 201 | リンパ： 22 | 呼吸器系： 80 | 骨髄・他 3 |
| 皮膚： 40 | 乳房： 14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 骨・関節・靭帯・筋・腱： 457 | 消化管系： 177 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 四肢： 66 | 肝・胆・膵・脾： 113 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 椎体・骨盤： 73 | 門脈系： 13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 頭部： 97 | 腹壁・腹腔・後腹膜腔： 41 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 眼： 84 | 副腎・腎・尿管・膀胱・尿道： 103 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 耳： 44 | 前立腺： 13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鼻・口・顎・頬： 183 | 外性器： 61 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 頸部・甲状腺・副甲状腺： 16 | 子宮・付属器： 53 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 脊髄・末梢神経： 34 | 産科・胎児： 15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 心・大血管・末梢血管： 201 | リンパ： 22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 呼吸器系： 80 | 骨髄・他 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(2) 外保連手術試案コードと ICHI、K コードの相違点

外保連手術試案コードと ICHI の体系比較を行った結果、いずれも 7 桁であり、ICHI は最初の 3 アルファベットが「行為の対象 (Target)」、中間の 2 アルファベットが「行為の種類 (Action)」、最後の 2 アルファベットが「行為の方法 (Means)」と設定され、外保連手術試案コードは最初の 3 桁が「操作対象部位」、次の 2 桁が「基本操作」、次の 1 桁が「手術部位へのアプローチ方法」、次の 1 桁が「アプローチ補助器械」となり、構造が類似していた。(表 2、別表 B)

表 2. 基本構造の比較

| 外保連手術試案 STEM7 外保連手術コード | ICHI 2015α版 ICHI コード |
|------------------------------|-------------------------|
| 操作対象部位 (3桁) | Target (3桁) |
| 基本操作 (2桁) | Action (2桁) |
| 手術部位へのアプローチ方法 (1桁) | Means (2桁) |
| アプローチ補助器械 (1桁) | |

ICHI の「行為の種類」(Action) と外保連手術試案コードの「基本操作」の一部を比べたところ、ICHI コードがより精緻化されているもの(表 3) と、逆に外保連手術試案コードが精緻化されているものがあった。

表 3. 切除、Excision についての比較

| 基本操作 外保連手術コード | Action ICHI コード |
|------------------|-----------------------|
| A 1 切除 | Jl Excision, local |
| A 2 摘出 | JJ Excision, partial |
| | JK Excision, total |
| | JL Excision, extended |
| A 3 切断 | JN Amputation |

切断 Amputation は 1 対 1 対応だが、切除 Excision は外保連手術コードが 2 つ、ICHI コードが 4 つに精緻化されている。

ICHI の「行為の対象」(Target) と外保連手術試案コードの「操作対象部位」の対応付けを試行したところ、外保連手術試案コードにおける ICHI 対応は 332/1046 (約 32%)、ICHI における外保連手術試案コード対応は 251/633 (約 40%) であり、Body Part(s) or Anatomical site(s)に限れば約 80%の対応率であることがわかった。(別表 C)

また、さらに詳細な比較検討のために、一部の領域(胆道系)に関して、ICHI、K コード、外保連手術試案コードの相違点を整理し、コード付けを行った。その結果、胆嚢摘出術について ICHI は「KCF JK AA」、外保連手術試案コードは「Q81A204」、「Q81A207」、「Q81A200」、K コードは「K672」、「K675 1」、「K675 2」、「K675 4」、「K675 5」となり、ICHI コードでは良性、悪性の区分けをしていないことが想定され、外保連手術試案コード、K コードでは別の手術と捉え胆嚢悪性腫瘍手術等により細分類していた。また、ICHI には一例として「Repair of other bile duct」と掲載のとおり「other」が存在し、頻度の少ないもの等、行われる医療行為をすべてコーディングできるように設定されていた。一方、外保連手術試案コード、K コードは日本の診療報酬に収載することが目的であることから、「other」の項目はない。(別表 D)

(3) 具体的医療行為に対するコード付け

一般社団法人日本病院会・診療情報管理士通信教育の教材「診療情報管理Ⅳ」専門・分類法編に掲載されている例題(表4)から30の医療行為を5つの分類でコード付けを行い、ICD-9-CMを基準として、Kコード、ICHI、CPT、外保連手術試案コードの順にて対比表を作成した。用いた医療行為は、「経気管支的肺生検」、「腹腔鏡下S状結腸切除術」、「経皮的乳房針生検」、「脾摘出術」「開腹的胆嚢摘出術」、「総胆管結石除去術」、「甲状腺右葉切除術」、「言語障害の訓練」、「モートン(Morton)神経腫切除術」、「涙嚢鼻腔吻合術(DCR)(挿管によるもの)」、「翼状片切除術(角膜移植片併用)」、「耳管挿管術(ブジー法)」、「左心カテーテル検査」、「腹部大動脈瘤切除術(人工血管置換)」、「気管支拡張術」、「腹腔鏡下虫垂切除術」、「内視鏡下胆管ステント挿入術」、「爪床除去術」、「橈骨移植術」、「パラフィン療法(温浴)」、「尿管ステント挿入術」、「経尿道的前立腺摘除術」、「子宮頸部修復術(シロツカー法)」、「光線療法(新生児)」、「副耳切除術」、

「胸郭変形修復術」、「失語症のリハビリテーション」、「大腿骨人工骨頭置換術」、「切断母指再接合術」及び「超音波検査」の計30行為とした。

5分類コードすべてが1対1対応となったのは「腹腔鏡下S状結腸切除術」、「脾摘出術」、「開腹的胆嚢摘出術」、「内視鏡下胆管ステント挿入術」、「尿管ステント挿入術」、「子宮頸部修復術(シロツカー法)」、「大腿骨人工骨頭置換術」の7行為であった。その他の23行為では、5分類のいずれかで1対複数または1対0が発生した。0となったのはKコードと外保連手術試案コードで見られ、Kコードの場合、点数表では検査に該当するため等の原因からであった。複数コードの発生数(率)についてKコードは8(27%)、ICHIは1(3%)、CPTは9(30%)、外保連手術試案コードは12(40%)だった。また、C(2)の研究結果と併せて、比較的、CPTと外保連手術試案コードには、同一コードで複数の医療行為を含める(同一の医療行為を細分化する)事例が認められた。

表4「診療情報管理Ⅳ」専門・分類法編掲載 例題(30行為のうちの1行為)

例題Ⅱ 疾病・医療行為コーディング

索引表で引いた後には、必ず主傷病名と医療行為を内容例示表で確認する。

例1) 主傷病名：侵襲性アスペルギルス症
 医療行為：経気管支的肺生検

| | |
|----------------|------|
| 索引表：◆生検 | 第一次項 |
| - 肺 NEC | 第二次項 |
| -- 経気管支的 33.27 | 第三次項 |

内容例示表で確認をする。

[解答] 主傷病名 (ICD-10)：侵襲性肺アスペルギルス症 B44.0 † J99.8*
 医療行為 (ICD-9-CM)：経気管支的肺生検 33.27

D. 研究課題に影響する要因の分析

今回研究の対象とした五つの分類体系は、その基本理念が各々異なる事により、その対象、構造、及び分類粒度に少なからずの差異がある。即ち ICD-9CM がその出発点が、基本的に医療行

為統計の比較を目的としているのに対して、CPT、Kコード、外保連手術試案コードは診療報酬請求を主目的としたものである。ICHI に関しては未完成である点から、その開発の流れによって、どの方向が主目的となるか不明であるが、

「国際間の比較」、「各国内での診療報酬の基礎」の両者の目的での使用が可能で、「多目的」「普遍的」な使用にたえるものを目指しているように見える。

これらの差異の他にも、各分類の大きな特徴は以下のように要約できる。

(1) ICHI

前述の通り未完成であり、将来の開発の方向性により形が変化するものと考えられるが、臨床面での診療行為のみならず、公衆衛生分野での調査・介入まで広い範囲をカバーしている点は、その他の分類との大きな違いである。この為、通常診療行為の分類に関しては、その精度、分類項目数などの面で不足である部分が見られる。その基本構造が組織的であり、拡張可能であることも明らかで、将来的には普遍的な使用目的での応用が十分期待できる。

(2) CPT

純然たる診療報酬体系の中での使用を目的とするものであるため、米国内で行われている医療行為に関して、そのカバーする範囲、分類の精度は十分であろうと思われる。当然、その他の分野については全く含まれていない。項目数が極めて多いのに加えて、その構造は機械的にふられたコードであり、また似たような表記の手技が多数あり、実際の使用については精通しないと困難である。

(3) ICD-9CM

国際分類である ICD-9 を基本とした分類であり、組織的な体系を持っているが、作成された時期が古いこともあり、その内容は現在の医療・保健の状況からみると多分に“時代遅れ”の傾向があり、項目数についても前述の理由などから、実際の使用には不十分である印象を免れ得ない。

(4) Jコード、Kコード

わが国独自の診療報酬体系の中での使用に限定される分類であり、単なる番号の羅列である点から、これを普段から使用する職種を除いては理解が困難である。保険診療の場で、実際

に行われる術式のみをカバーしているため、体系的な比較などには不相当である。

(5) 外保連手術試案コード

診療報酬体系の中での使用を想定して作成されており、専らこの目的に即した構造になっている。Kコードには当然対応するが、これら以外は基本的にカバーされていない。しかし、その基本構造は ICHI とよく似ており、部分的には ICHI との対応の可能性が十分に見られる。

E. 結論

医療行為にかかわる国際標準的な分類は、わが国を含め各国の医療水準を客観的に評価する為に重要であるが、現時点では WHO において開発中である ICHI が唯一これに該当する。国内に存在する医療行為分類は基本的に診療報酬請求の為のものであり、その基本理念、構造の面から国際比較の為に使用には不十分であり、米国の CPT も診療報酬システムの為の分類であることから、実臨床で行われる手術・手技に関しては詳細な分類であるが、同じく国際比較には適していない。ICHI は国際比較の標準的ツール等として開発されているとされているため、わが国においても、将来的には対応する必要があると考えられる。そのため ICHI 使用に向けて、本研究班研究者は、関連国際会議へ参加し、国内の医療行為の分類（外保連試案コード、診療報酬点数表の K コード）と ICHI との比較検証結果のプレゼンを実施した（別表 E）。その結果、ICHI と他国の分類について比較検証を行った研究はこれまでほとんど行われていなかった点、また、英語を母国語としない国での使用可能性について ICHI Development Committee は検討できていなかった点などから、ICHI のメンバーからは本研究班の成果について関心が示された。特に Surgical and Medical Intervention の項目については外保連試案コードとの比較などから得られた知見を提供することにより ICHI 開発に貢献できる可能性が示唆された。

いずれにしても、各分類により医療行為の定義と範囲が異なっており、有償行為に限った医療行為分類だけでは、国際比較などの目的には不十分であり全ての目的を包含できないことがわかった。

また、各分類には長所、短所があり、それぞれを強制的に修正すべきではないと考える。

また、ICHI と国内で既に使用している医療行為の分類とのマッピング等を行い、比較・検証する体制を整えられれば、日常の保険診療情報がそのまま国際比較の目的にも使用できると考えられるが、そのためには ICHI 開発の方向を注意深く見守ると同時に、積極的に参画し、開発に貢献することを検討する必要がある。また、最終的に国内で使用する分類を決定する際は、様々な目的を考慮し、国民的な合意のもと選択されるべきであることを付記したい。

F. 健康危険情報 なし

G. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

別表A 医療行為分類 対比表

| NO | 項目 | 主傷病名 | 医療行為 | ICD-9CM 原版 | ICD-9CM | レセ電算名称 | レセ電算コード | 診療報酬点数表コード (Kコード) | コメント | ICHI名称 | ICHIコード |
|----|----------|-------------------|----------------------|---|---------|----------------------------------|-----------|-------------------|---------------------------|---|-----------|
| 1 | 感染症・寄生虫症 | 侵襲性肺アスペルギルス症 | 経気管支の肺生検 | Closed endoscopic biopsy of lung | 33.27 | | | | 点数表では検査に該当する | Biopsy of lung, endoscopic approach | AGI AD AB |
| 2 | 新生物 | S状結腸癌 | 腹腔鏡下S状結腸切除術 | Open and other sigmoidectomy | 45.76 | 腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術 | 150324910 | K719-03-00 | ただし、4573 (ICD-9CM) | Laparoscopic sigmoidectomy | AHP GD AB |
| 3 | 新生物 | 乳房腫瘍 (性状不詳) | 経皮的乳房針生検 | Closed [percutaneous] [needle] biopsy of breast | 85.11 | | | | 点数表では検査に該当する | Percutaneous [needle] biopsy of breast | ARE AD AE |
| 4 | 血液 | 遺伝性球状赤血球症 | 脾摘出術 | Total splenectomy | 41.5 | 副腎腫瘍摘出術 (髄質腫瘍 (褐色細胞腫)) (脾摘出術を併施) | 150342350 | K755-00-02 | ただし、451 (ICD-9CM)は優先ではない | Total splenectomy | AFG GE AA |
| 5 | 血液 | 遺伝性球状赤血球症 | 開腹的胆嚢摘出術 | Cholecystectomy | 51.22 | 胆嚢摘出術 | 150172410 | K672-00-00 | | Cholecystectomy | AHV GE AA |
| 6 | 血液 | 遺伝性球状赤血球症 | 総胆管結石除去術 | Common duct exploration for removal of calculus | 51.41 | 胆管切開結石摘出術 (胆嚢摘出を含む) | 150296610 | K671-00-01 | ただし、5149 (ICD-9CM) | Common duct exploration for removal of calculus | AHW JC AA |
| | | | | | | 胆管切開結石摘出術 (胆嚢摘出を含まない) | 150172310 | K671-00-02 | ただし、5149 (ICD-9CM) | | |
| 7 | 内分泌 | 腺腫様甲状腺腫 | 甲状腺右葉切除術 | Unilateral thyroid lobectomy | 06.2 | 甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術 (片葉のみ) | 150118910 | K461-00-01 | ICD-9CMに向かないとされている (-) | Unilateral thyroid lobectomy | AKC GD AA |
| 8 | 精神 | 表出性言語障害 | 言語障害の訓練 | Speech defect training | 93.74 | | | | 点数表では脳血管疾患等リハビリテーションに該当する | Training mental functions of spoken and written language | FAQ PC AZ |
| 9 | 神経 | モートン (Morton) 神経腫 | モートン (Morton) 神経腫切除術 | Other excision or avulsion of cranial and peripheral nerves | 04.07 | 神経腫切除術 (その他) | 150073510 | K193-00-02 | | Curettage of peripheral nerve; Excision of peripheral neuroma [Mortons] | AAL GD AA |

| コメント | CPT名称 | CPTコード | コメント | 外保連試案名称 | 外保連試案コード | 第8.2版試案ID | 部位分類コード | 部位コード | 7桁分類コード |
|------|--|--------|---|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------|----------|--------------------|
| | Flexible bronchoscopy with biopsy of lung | 31628 | コードは同一 | 該当なし | | | | | |
| | Rigid bronchoscopy with biopsy of lung | 31628 | コードは同一 | | | | | | |
| | Surgical laparoscopy with proctopexy and sigmoid resection | 45402 | sigmoidectomyに関連するコードが見つからない(継続調査) | 結腸切除術(小腸腸切除)(腹腔鏡下) | S81-0267700 | S81-0267700 | 25 | A1 | Q54A111 |
| | ★laparoscopicに該当しない: colectomyでは該当するが他の要素が含まれる | | ★Laparoscopy procedure on intestineという曖昧なコードもある | | | | | | |
| | Percutaneous core needle biopsy of breast | 19100 | コードは同一 | 該当なし | | | | | |
| | Percutaneous core needle biopsy of breast without imaging guidance | 19100 | コードは同一 | | | | | | |
| | Complete splenectomy | 38100 | | 脾摘出術(開腹) | S81-0262500 | S81-0262500 | 31 | A2 | Q99A200 |
| | Cholecystectomy | 47600 | | 胆嚢摘出術(開腹) | S81-0247600 | S81-0247600 | 28 | A2 | Q81A204 |
| | Choledochotomy with removal of calculus | 47420 | cholecystectomy(胆嚢摘出)のみは別コードであり。47600 | 胆管切開結石摘出術(チューブ留置を含む)(開腹) 胆嚢摘出術(開腹) | S81-0249400 S81-0247600 | S81-0249400 S81-0247600 | 28 28 | A6 A2 | Q86A604 Q81A204 |
| | | | | 胆管切開結石摘出術(腹腔鏡下) 胆嚢摘出術(腹腔鏡下) | S81-0249500 S81-0247700 | S81-0249500 S81-0247700 | 28 28 | D2 A2 | Q86D211 Q81A211 |
| | Choledochotomy with removal of calculus | 47420 | | 胆管切開結石摘出術(チューブ留置を含む)(開腹) 胆嚢摘出術(開腹) | S81-0249400 S81-0247600 | S81-0249400 S81-0247600 | 28 28 | A6 A2 | Q86A604 Q81A204 |
| | | | | 胆管切開結石摘出術(腹腔鏡下) 胆嚢摘出術(腹腔鏡下) | S81-0249500 S81-0247700 | S81-0249500 S81-0247700 | 28 28 | D2 A2 | Q86D211 Q81A211 |
| | Unilateral partial thyroid lobectomy | 60210 | | 甲状腺部分切除術(甲状腺腫摘出術・片葉) | S81-0173100 | S81-0173100 | 13 | A1 | D8BA100 |
| | | | | 甲状腺切除術(片葉)(内視鏡下) | S81-0173300 | S81-0173300 | 13 | A1 | D8BA111 |
| | Unilateral partial thyroid lobectomy with | 60210 | | | | | | | |
| | Unilateral partial thyroid lobectomy with contralateral subtotal lobectomy, including isthmusectomy | 60212 | | | | | | | |
| | Unilateral complete thyroid lobectomy | 60220 | | | | | | | |
| | Unilateral complete thyroid lobectomy with isthmusectomy | 60220 | | | | | | | |
| | Unilateral complete thyroid lobectomy with contralateral subtotal lobectomy, including isthmusectomy | 60225 | | | | | | | |
| | Treatment of speech, language, voice, communication | 92507 | rehabilitationでは聴覚し か出てこない(継続調査) | 該当なし | | | | | |
| | Excision of Morton neuroma | 28080 | 同一コード | 神経腫切除術・手足の指以外 | S82-0117600 | S82-0117600 | 14 | A1 | E1GA102 |
| | Excision of single Morton neuroma | 28080 | 同一コード | | | | | | |
| | | | | 神経腫切除術(内視鏡下) | S81-0117700 | S81-0117700 | 14 | A1 | E1GA111 |
| | | | | 神経腫切除術・手指 | S81-0117400 | S81-0117400 | 14 | A1 | E1GA100 |
| | | | | 神経腫切除術・足指 | S81-0117500 | S81-0117500 | 14 | A1 | E1GA100 |
| | | | | 手指断端神経腫切除術 | S81-0088500 | S81-0088500 | 14 | A1 | B6SA100 |
| | | | | 断端神経腫切除術(鏡視下) | S81-0117300 | S81-0117300 | 14 | A1 | E1GA111 |

| コメント | CPT名称 | CPTコード | コメント | 外保連試案名称 | 外保連試案コード | 第8.2版試案ID | 部位分類コード | 部位コード | 7桁分類コード |
|------|--|--------|------|--|-------------|-------------|---------|-------|---------|
| | Surgical endoscopy of nose with dacryocystorhinostomy | 31239 | | 該当なし | | | | | |
| | Transposition of pterygium with graft | 65426 | | 翼状片手術 | S82-0123900 | S82-0123900 | 8 | M7 | D47M702 |
| | | | | 角膜移植術（全層移植） | S82-0129100 | S82-0129100 | 8 | M7 | D4CM702 |
| | | | | 角膜移植術（全層移植以外） | S82-0129200 | S82-0129200 | 8 | M7 | D4CM702 |
| | Tympanostomy with insertion of ventilating tube under local anesthesia | 69433 | | 耳管内チューブ挿入術 | S81-0136300 | S81-0136300 | 9 | H1 | D5BH132 |
| | Tympanostomy with insertion of ventilating tube under topical anesthesia | 69433 | | | | | | | |
| | Tympanostomy with insertion of ventilating tube under general anesthesia | 69436 | | | | | | | |
| | Insertion of catheter into left heart for diagnosis | 93452 | | 該当なし | | | | | |
| | | | | 大動脈瘤切除術（吻合又は移植を含む）・腹部大動脈（分枝血管の再建を伴う） | S81-0209500 | S81-0209500 | 15 | A1 | T72A100 |
| | | | | 大動脈瘤切除術（吻合又は移植を含む）・腹部大動脈（分枝血管の再建を伴う） | S81-0209500 | S81-0209500 | 15 | A1 | T72A100 |
| | | | | 大動脈瘤切除術（吻合又は移植を含む）・腹部大動脈（分枝血管の再建を伴わない）大動脈瘤切除術（吻合又は移植を含む） | S81-0209600 | S81-0209600 | 15 | A1 | T72A100 |
| | | | | 大動脈瘤切除術（吻合又は移植を含む）・腹部大動脈（分枝血管の再建を伴わない）大動脈瘤切除術（吻合又は移植を含む） | S81-0209600 | S81-0209600 | 15 | A1 | T72A100 |
| | | | | 人工血管置換術（腎動脈遮断を伴う腹部大動脈瘤に対するもの） | S81-0209700 | S81-0209700 | 15 | A1 | T72A100 |
| | Endovascular repair of infrarenal abdominal aortic aneurysm using aorto-aortic tube prosthesis | 34800 | | | | | | | |
| | Endovascular repair of infrarenal abdominal aortic aneurysm using modular bifurcated prosthesis | 34802 | | | | | | | |
| | Endovascular repair of infrarenal abdominal aortic aneurysm using modular bifurcated prosthesis with 1 | 34802 | | | | | | | |
| | Endovascular repair of infrarenal abdominal aortic aneurysm using modular bifurcated prosthesis | 34803 | | | | | | | |
| | Endovascular repair of infrarenal abdominal aortic aneurysm using modular bifurcated prosthesis with 2 | 34803 | | | | | | | |
| | Endovascular repair of infrarenal abdominal aortic aneurysm using unibody bifurcated prosthesis | 34804 | | | | | | | |
| | Endovascular repair of infrarenal abdominal aortic aneurysm using aorto-uniliac prosthesis | 34805 | | | | | | | |

| NO | 項目 | 主傷病名 | 医療行為 | ICD-9CM 原版 | ICD-9CM | レセ電算名称 | レセ電算コード | 診療報酬点数表コード (Kコード) | コメント | ICHI名称 | ICHIコード |
|----|------|-------------|---------------|---|---------|-------------------------------|-----------|-------------------|---|---|-----------|
| 15 | 呼吸器 | 気管支狭窄 | 気管支拡張術 | Bronchial dilation | 33.91 | 気管支狭窄拡張術 (気管支鏡) | 150129110 | K508-00-00 | | Endoscopic bronchial dilation | JBB LG AD |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 16 | 消化器 | 急性虫垂炎 | 腹腔鏡下虫垂切除術 | Laparscopic appendectomy | 47.01 | 腹腔鏡下虫垂切除術 (虫垂周囲膿瘍を伴うもの) | 150272050 | K718-02-02 | | Laparscopic appendectomy | KBO JK AB |
| | | | | | | 腹腔鏡下虫垂切除術 (虫垂周囲膿瘍を伴わないもの) | 150337610 | K718-02-01 | | Laparscopic appendectomy | KBO JK AB |
| 17 | 消化器 | 胆管閉塞 | 内視鏡下胆管ステント挿入術 | Endoscopic insertion of stent in to bile duct | 51.87 | 内視鏡的胆道ステント留置術 | 150254410 | K688-00-00 | | Endoscopic insertion of device into bile duct | KCM LH AD |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 18 | 皮膚 | 陥入爪 | 爪床除去術 | Removal of nail bed | 86.23 | 爪甲除去 | 140032750 | J001-07-00 | | Removal of foreign body of nail of toe | LBF JD AA |
| | | | | | | 陥入爪手術 (簡単) | 150054610 | K091-00-01 | | Removal of foreign body of nail of toe | LBF JD AA |
| | | | | | | 陥入爪手術 (爪床爪母の形成を伴う複雑) | 150054710 | K091-00-02 | | Removal of foreign body of nail of toe | LBF JD AA |
| 19 | 筋骨格系 | 左橈骨骨折後変形癒合 | 橈骨移植術 | Bone graft radius | 78.03 | 骨移植術 (軟骨移植術を含む) (自家骨移植) | 150295010 | K059-00-01 | マスタの9CM 78.00 77.70 | Bone graft, radius or ulna | MFB ML AA |
| | | | | | | 骨移植術 (軟骨移植術を含む) (同種骨移植) (生体) | 150031710 | K059-00-02 | マスタの9CM 78.00 77.70 | Bone graft, radius or ulna | MFB ML AA |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 骨移植術 (軟骨移植術を含む) (同種骨移植) (非生体) | 150335510 | K059-00-03 | マスタの9CM 78.00 | Bone graft, radius or ulna | MFB ML AA |
| | | | | | | 骨移植術 (自家骨又は非生体同種骨移植と人工骨移植の併) | 150341250 | K059-00-03 | マスタの9CM 78.00 | Bone graft, radius or ulna | MFB ML AA |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 20 | 筋骨格系 | 関節リウマチ (手指) | パラフィン療法 (温浴) | Paraffin bath | 93.35 | | | | Hydrotherapy with partial immersion of upper limb | PMA SZ BS | |

| コメント | CPT名称 | CPTコード | コメント | 外保連試案名称 | 外保連試案コード | 第8.2版試案ID | 部位分類 コード | 部位コード | 7桁分類 コード |
|------|---|--------------|-------|---------------------------|-------------|-------------|-------------|-------|-------------|
| | | | | 気管支狭窄拡張術（気管支鏡下） | S81-0185700 | S81-0185700 | 19 | G2 | P35G221 |
| | | | | 気管支狭窄拡張術（光照射術） （気管支鏡下） | S81-0185800 | S81-0185800 | 19 | G2 | P35G221 |
| | Flexible bronchoscopy with bronchial dilation | 31630 | 確認できず | | | | | | |
| | Flexible bronchoscopy with bronchial dilation using fluoroscopic guidance | 31630 | 確認できず | | | | | | |
| | Rigid bronchoscopy with bronchial dilation | 31630 | 確認できず | | | | | | |
| | Rigid bronchoscopy with bronchial dilation using fluoroscopic guidance | 31630 | 確認できず | | | | | | |
| | Removal of appendix using an endoscope | 44970 | | 虫垂切除術（複雑）（腹腔鏡下） | S81-0267100 | S81-0267100 | 25 | A1 | Q52A111 |
| | Removal of appendix using an endoscope | 44970 | | 虫垂切除術（単純）（腹腔鏡下） | S81-0267000 | S81-0267000 | 25 | A1 | Q52A111 |
| | Endoscopic retrograde cholangiopancreatography with placement of stent of bile duct and sphincterectomy | 43274 | | 胆管内プロステシス留置術（内 視鏡下） | S81-0246100 | S81-0246100 | 28 | H2 | Q87H221 |
| | Endoscopic retrograde cholangiopancreatography with placement of stent of pancreatic duct | 43274 | | | | | | | |
| | Endoscopic retrograde cholangiopancreatography with placement of stent of pancreatic duct and sphincterectomy | 43274 | | | | | | | |
| | Wedge excision of skin of nail fold | 11765 | | 爪甲除去術 | S82-0086300 | S82-0086300 | 5 | A1 | A54A100 |
| | Wedge excision of skin of nail fold | 11765 | | | | | | | |
| | Wedge excision of skin of nail fold, Repair of nail bed | 11765, 11760 | | 陥入爪手術（爪床・爪母） | S81-0086700 | S81-0086700 | 5 | D1 | A54D100 |
| | | | | 自家骨移植術 | S81-0052100 | S81-0052100 | 3 | M7 | B12M700 |
| | Repair of malunion of radius with autograft | 25405 | | 同種骨移植術（生体骨） | S82-0052200 | S82-0052200 | 3 | M7 | B12M700 |
| | Repair of malunion of radius with autograft, including harvesting of graft | 25405 | | | | | | | |
| | Repair of malunion of ulna with autograft | 25405 | | | | | | | |
| | Repair of malunion of ulna with autograft, including harvesting of graft | 25405 | | | | | | | |
| | Repair of nonunion of radius with autograft | 25405 | | | | | | | |
| | Repair of nonunion of radius with autograft, including harvesting of graft | 25405 | | | | | | | |
| | Repair of nonunion of ulna with autograft | 25405 | | | | | | | |
| | Repair of nonunion of ulna with autograft, including harvesting of graft | 25405 | | | | | | | |
| | | | | 同種骨移植術（非生体骨） | S82-0052300 | S82-0052300 | 3 | M7 | B12M700 |
| | | | | 人工骨移植術 | S82-0052400 | S82-0052400 | 3 | M7 | B12M700 |
| | Bone graft | 20900 | | | | | | | |
| | Bone graft | 20902 | | | | | | | |
| | Major bone graf | 20902 | | | | | | | |
| | Application of paraffin bath | 97018 | | 該当なし | | | | | |